

## 9月2日(水) 縦割り団対抗の目的は？



9月がスタートし、春に予定していた体育祭が新型コロナウイルスの感染拡大により延期になり、5日開催ということで、今はその練習のまっただ中。本校では4年前からそれまでの「学級対抗」から「縦割り団対抗」に変わりました。「縦割り団対抗」というのは、各学年を「睦団」「友愛団」「理想団」の三つに分けてチームを編成し、競い合う方式です。一つの団には1年生から3年生までがいる異年齢集団になります。

なぜ縦割り団になったのか？

その目的は二つ。

一つは「人間関係を拡げること」にあります。これまでは同年齢の集団の中での関係しかありませんでしたが、異年齢の人たちとの関係をつくることで、横だけでなく、縦の人間関係まで拡げていくことにあります。

二つ目は「あこがれのモデルをつくること」です。上級生が下級生の面倒を見ていくことで、下級生は「自分たちも何年後かにはああいう先輩になりたい」という先輩へのあこがれのイメージをつくっていく。

このような目的から本校では団対抗を始めました。今年はいろいろな意味で制限された中での練習ですが、よく見ていると3年生がリーダーとなって1・2年生を指導している場面を昨年以上に見かけます。教師が教えるよりも、先輩から教わった方がよく分かるようです。この活動を体育祭だけではもったいないので、学習面などでも活用していきたいと考えています。